

園だより

2月

のびやかふたば

令和6年2月1日
社会福祉法人共生会
白鳥ふたば保育園

新年早々に起きた能登半島沖地震、翌日の飛行機事故…。沢山の尊い命が奪われ、言葉にならない事態に胸が締め付けられる思いでした。大切な家族を亡くした遺族の皆様のご心中お察し致します。又、厳しい寒さの中不便な生活を過ごしていらっしゃる被災地の方々に心よりお見舞い申し上げます。

2011年3月11日の東日本大震災も忘れません。高校時代、夏の合宿で毎朝走った陸前高田の高田松原には、約4万本の松が植樹され、その中の600本は震災前に植えた松ぼっくりを送ってくださった方がいて、種から育てたそうです。いつ、どこで災害が起きてもおかしくない状況のなか、この教訓をいかしていきたいと思います。

さて、もうすぐ節分です。季節の分かれ目という意味で、「立春」、「立夏」、「立秋」「立冬」の前の日の事ですが、今では殆ど「立春」の前日だけをするようになりました。「鬼」は、冬の寒さや病気、災いをもたらす全ての悪いものを表すとされたようです。「鬼は外」、「福は内」、心から願いたいです。

園長 佐々木ひとみ

【行事予定】

2日（金）節分

8日（木）0歳児健診

13日（火）身体測定

※避難訓練（抜き打ち）中旬～下旬

◎1月29日（月）～2月14日（水）

各クラスに実習生が入っています。

クラス別懇談会のお知らせ

21日（水）あおぞら組（2歳児）

22日（木）おひさま組（1歳児）

26日（月）きらきら組（5歳児）

27日（火）わくわく組（4歳児）

28日（水）うきうき組（3歳児）

◎時間は、各日 17:00～18:00です。



【1月の避難訓練】

炊き出し訓練・職員の応急救護訓練をしました。今後も被災地の情報など収集し、様々な訓練をしていきたいと思っています。



進学・進級まであと2ヶ月となりました。少し早いのですが、各クラス「大きくなったなあ…」「成長したなあ！」と思う今日この頃のエピソードを聞いてみました！

【わたぐも組】

入園当初はまだゴロゴロしたり、お座りもできなかった子どもたちですが、今はみんな立って遊ぶ姿が見られます。わらべ歌も耳を傾けるだけだった姿から、身体を揺らしたり、言葉の端々を口ずさんだり、仕草を真似したりする姿も見られるようになりました。食事今はほとんど、自分で食べようと手づかみ食べをしています。それぞれが成長していく過程を間近で見ることが出来て本当に幸せな一年でした。



【おひさま組】

進級当初は保育者に甘える姿が多く、とてもかわいらしい姿が見られていたのですが、少しずつ「自分で!!」という姿が見られ保育者の手がなくとも出来るようになってきました。少し寂しい気持ちもありますが、嬉しい成長でもあります。これからもっといろいろなことが出来るようになる姿が、今からとても楽しみです♪

【あおぞら組】

4月は何でも「やって〜」だった子どもたちですが、いつの間にか外遊びから戻ると脱いだ服をたたみ、自分でバックにしまっている…ということが多くなりました。身の回りのことを自分でしよう!とする姿に成長を感じます。



【うみ組】

*うきうき*身の回りのことを手伝ってもらったことが多かった子どもたちですが、自分でやろうとしています。また、年上の子どもたちの姿を見て様々なことに、挑戦しようとする姿も増えてきました。

*わくわく*話す力や考える力がついてきて自分の伝えたいことや相手の話を聞きながら友だち同士で仲良く遊ぶことを楽しんでいます。年長児のすることをあこがれのまなざしで見たり、年少児に対しては、お世話をしたりする姿も見られます。

*きらきら*クラスの中心として年下の子に声を掛けたり、困っている子には手を差し伸べたりする姿も見られています。自分達で話し合って問題を解決しようとする姿も増えてきました。



【3月のクラスだより 発行日の変更のお知らせ】

毎月1日に発行している各クラスの「クラスだより」ですが、3月号の発行は中旬となります。